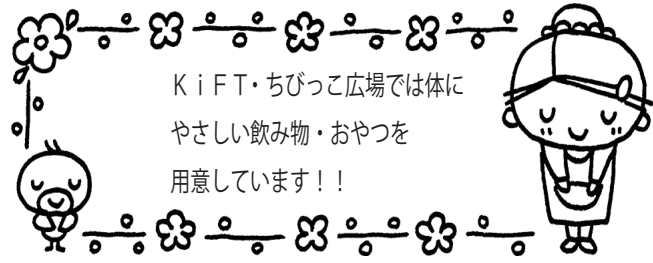


応援します。なかよし親子

Come Come



2022年 1月号



2022 あけまして おめでとうございます 本年もよろしくお願いたします



新しい一年がスタートしました。今年も元気で明るく、そして楽しく過ごせる事をスタッフ一同お祈り申し上げます。

けんかを学びのチャンスにしよう!



避けて通れないのが、子ども同士のケンカです。ケンカは決してマイナスのことばかりではなく、子どもたちが社会で生きていくうえでの貴重な「学びのチャンス」ケンカを成長に繋げるための心構えとは?

☆相手にも気持ちがあることに気づく!



<起りがちなケンカ>

Aちゃん(2歳)の使っているぬいぐるみを欲しくなったBちゃんが、何も言わずに無理やりぬいぐるみを奪い取り、Aちゃんが泣いても返そうとしなかった。

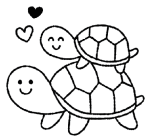
<ケンカの理由>

人の物を取る、奪う、独占しようとするというのは、子どもにしてみれば自分の欲求のままに行動しているだけ。特に2歳児ぐらいの子は、欲しい物があつたとき、それを持っている子を「人」とは思っていない。物と同じで自分にとって邪魔だから、どかす、押す、たたくなどの行動に出ます。

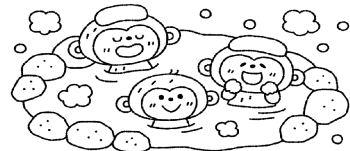
<対応>

共感しつつ、相手の気持ちを伝える!

この場面で大切なのは、相手の子にも気持ちがあるということに気づかせることです。Bちゃんには、まず「Bちゃん、ぬいぐるみが使いたかったんだね」と共感を示します。それから「Aちゃんも同じように使いたかったんだよ」と相手の子の気持ちを代弁します。しっかり伝えることで、子どもは相手にも意識を向けられるようになります。



☆自分の思いを言葉で表現しようとする!



<起りがちなケンカ>

滑り台の順番を待っていたEくん(3歳)。途中で割り込んできたFくんを何も言わずにドンと押ししまい、転んだFくんが大泣きしてもみ合いのケンカに。

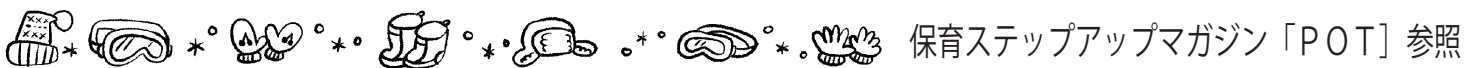
<ケンカの理由>

思いを言葉で伝えられない…。初めはだれだってそうです。「貸して」「入れて」「嫌だ」といった言葉は、大人には簡単なひと言に思えますが、子どもには「こういふときに何と言うか」という語彙や知識、経験がありません。だから行動で示そうとします。言葉の発達は、個人差があります。言葉で言えなかった子が言えるようになることが、成長の証です。

<対応>

適切な言葉やお互いの気持ちを通訳して伝える。

子ども同士のやり取りは、行動などの「非言語」のコミュニケーションが多いもの。大人が通訳となって、子どもの気持ちを言葉にしていきましょう。横入りされた子には「後ろに並んでって言うんだよ」、横入りした子には「横入りされたら、みんな嫌な気持ちだよ。後ろに並ぼうね」と伝えます。



保育ステップアップマガジン「POT」参照

ゆうゆうK i F T (児童クラブ解放日)のお知らせ

1月の解放日…21日(金) 10:00~11:30 UVレジン教室

2月の解放日…11日(金) 10:00~11:30 切り絵教室

